

集中企画●一足お先にオトクな夏休み計画

格安 海外旅行は インターネットで 決まり!

これからの海外旅行はインターネットで手配しよう!
この記事にはインターネットを徹底的に活用するための
ノウハウが満載。これさえ読めば、インターネット
が自由旅行を強力にサポートしてくれるはずだ!

愚留目都亜(ぐるめ・つあ)

妻とともにリーズナブルな海外旅行をするのを趣味とする。
オフシーズンを中心に年に数回旅行し、美味しいものを食べ、
珍しい食材を物色することに情熱を燃やす。本誌では創刊号から
約3年間にわたって「LINE WITH INTERNET」の執筆も手がけた。

ご意見は下記URLまで
<http://internet.impress.co.jp/gourmet/>



ZZ
OO
II
TT
AA
CC
AA
VV





もう代理店まかせにはできない!

いま、旅のスタイルが変わりつつある。これまで旅行代理店にしかなかった情報は、いまやインターネットを使えば誰でも見られる時代になった。つまり旅のプランは旅行代理店まかせでなく、自分で自由にアレンジできる時代になったのだ。この“Do it yourself”の楽しみの先には、「格安」も「贅沢」も何でもあるぞ!

パックツアーから個人旅行へ

10年ほど前までの海外旅行というと、旅行会社の主催したパッケージツアーに参加して団体で旅行するという形態がほとんどだった。

しかし最近では、嗜好の多様化に伴って、旅行会社の用意したものでは満足せず、個人個人が自分の好きな形で旅行するというケースも増えてきている。

この場合、自分の好きな航空会社のフライトを利用し、泊まってみたかったホテルに滞在し、やってみたかったことを実現させるといった具合に、旅の各パーツを自分で自由に選択できることになる。もちろん、この選択を旅行会社に任せたり、提案してもらったりしてもいいだろう。

しかしインターネットに情報があふれ

ている現在では、自分で納得がいくまで調べてから、自分で選択することも十分可能になった。

多くの情報から自分で選べる

旅行会社や代理店に問い合わせる場合、その会社や代理店が取り扱っているもの、あるいは取り扱いたいものの範囲だけでしか情報が得られないことがある。

たとえば、あるリゾートホテルに泊まる場合、部屋のカテゴリーが実際には10種類以上も設定されているにもかかわらず、旅行会社に単純に問い合わせても3種類程度しか出てこないことがある。これは、旅行会社や代理店で情報の選択が行われ、その会社や代理店にとってのカテゴリー分けに再編成されているからである。

せっかく旅行するのだから、ホテルならそのホテルのすべての情報を知ったうえで部屋を選択するのが理想の姿だ。しかし、旅行会社や代理店とのやり取りで、ホテルの「すべて」を聞き出すのは容易ではない。

そこでインターネットの登場である。インターネットなら、現在の予約の状況などがほとんどすべてわかるといっても過言ではない。インターネットを使わずに電話で問い合わせると30分もかかってしまいそうな情報量が、自分の好きなときにWWWブラウザを操作するだけで得られるはずだ。あとは、表示されたすべての情報を十分に検討し、自分の嗜好にあったものを選択すればいいわけだ。

「旅の予約はインターネットで!」この言葉をキーワードとして、事例を見ていこう。



自分で得られる情報量は雲泥の差!!



予約システムの ネットワークに迫る!

インターネットで簡単に予約ができるとは言え、自分で予約を入れるのなら旅行業界の予約システムの仕組みを知っておいても損はしないだろう。旅行業界の予約システムはいくつもの種類があるが、それらはネットワーク化が進んで相互接続されている。ここでは、インターネットで賢く予約を入れるための基礎知識となる、旅行業界の予約システムについて解説したい。

予約システムのネットワーク

通常、フライトやホテル、レンタカーなどの予約をすると、依頼を受けた各会社や旅行会社がコンピュータを利用して予約を処理する。これらのコンピュータシステムを総称して、「コンピュータ予約システム」(Computer Reservation Systems)といい、その頭文字から一般には「CRS」と呼ばれている。航空会社、ホテル、レンタカーなどの各会社は独自のCRSを稼働させているが、旅行会社で独自にCRSを稼働させているところもある。旅行関係の会社にとってCRSは必須のものであり、利用してい

るCRSの良し悪しが業績を左右することさえある。

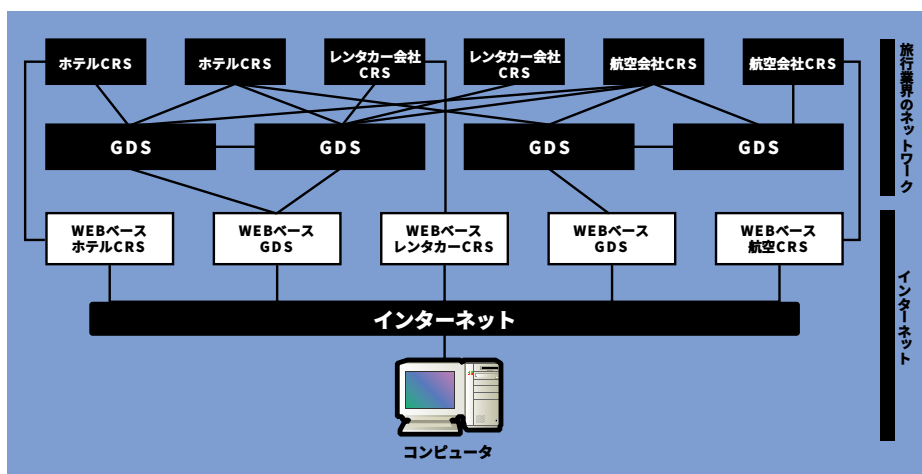
数あるCRSの中でも世界的に有名なものがGDS(Global Distribution Systems)と呼ばれる大きなシステムだ。セーバー(Sabre)、ガリレオ/アポロ(Galileo/Apollo)、ワールドスパン/アバカス(Worldspan/Abacus)、アマデウス/システムワン(Amadeus/System One)などが主要なGDSで、これらはCRSより大きい意味を持つ。

これらのGDSは、いずれも航空会社のCRSを起源としている。当然のことながら、当初はそれぞれの航空会社のフライトを予約するためのCRSとして運営されていた。その後、さまざまなサービ

スを統合して顧客に提供するために、ホテルやレンタカーの予約を始め、他の航空会社のフライト予約もできるように拡張された。要するに、1回電話をかければ、その航空会社だけでなく、旅行に必要なすべてのパーツが予約できるというわけだ。

GDSの中でも、特にセーバーとガリレオ/アポロは、2大システムと言える。セーバーはアメリカン航空のCRSを起源とし、ガリレオ/アポロはユナイテッド航空のCRSを起源とする。いずれも現在は独立した会社であり、それぞれ複数の航空会社が関連会社となって運営されている。

日本を本拠地とする代表的なCRSには、日本航空系のアクセス(Axess)、全日空系のインフィニ(Infini)があり、現在では両者とも独立したCRS会社となっている。また、日本国内に限っては、両方でシェアの80%程度を確保しており、日本の旅行会社では、最低でもどちらかのCRS端末が入っているのが普通という状態である。アクセスの株主は日本航空とセーバーグループで、そのためにアクセスは現在セーバーと



旅行予約システムのネットワーク (イメージ)



接続され、ホテルとレンタカーの予約に関してはサーバーの機能が利用できる。インフィニは日本で最初の独立したCRS会社で、その株主は全日空とアパカスとなっている。なお、アパカスはキャセイパシフィック航空、シンガポール航空、マレーシア航空、ガルーダインドネシア航空などのアジア系航空会社11社が参加しているCRSである。

CRSやGDSの相互接続

GDSでフライトだけではなく、ホテルやレンタカーの予約ができるということは、そのGDSとホテルやレンタカー会社のCRSとが接続されていることを意味する。その接続形態はさまざまだが、CRSやGDSではその相互接続が重要なキーとなっている。GDS／CRSはそれぞれ内部の実現方法が異なるわけで、そう簡単に接続できるものではない。そのため単に物理的に接続するだけではなく、プロトコル変換やデータ変換も行われている。

システム同士の接続は、それぞれの契約に基づいて行われるので、戦略的、あるいは政治的にその間を流れるデータが異なることもありえる。そのため、もともとが同じCRSでも、間に立つインターフェイスの役をしているCRSが異なれ

ば、得られるデータも異なることがある。

また、データの流れるタイミングも問題となる。即時にリクエストのデータが流れて、その回答も即時に戻される場合から、リクエストもある程度待たされ、回答もすぐには戻ってこない場合まである。この時間差があるため、利用しているCRSで「空きがある」と表示されていても、実際には空きがないといったことも起きるわけだ。

見ているGDS／CRSによって価格に一番差が出るのは、なんとと言ってもホテルの予約であろう。ホテルは、完全に独立したホテルを除いて、いずれかのホテルチェーンに属しているのが普通である。

複数のチェーンに属していることも珍しくはなく、複数のホテルチェーンのCRSから予約ができることもある。また、サーバーやアポロといったGDSからも予約ができるので、結局ホテル自身のCRS、属しているホテルチェーンのCRS、ほとんどのGDSと、予約できるシステムが数多く存在することになる。

前述したように、システム同士の接続にはそれぞれ契約に基づいた方針があるので、予約できるシステムがたくさん存在すると、それぞれが別の価格を提示することもある。また、1つのGDSに注目したときでも、そのGDSの設置されている場所によって表示されるデータがこ

異なることさえある。そのため、利用者はできるだけ多くのシステムを利用する必要が出てくるわけだ。

ウェブにすべての情報がある

たくさんのシステムを利用すると言っても、実際にはそう簡単なことではない。そこで活躍するのがインターネットである。

現在では、多くのGDS／CRSがインターネット上で情報の提供サービスを行っている。なかには、インターネットから予約ができるものだってある。

また、これまでのGDS／CRSとのインターフェイスをとる形で、情報検索／予約サービスを提供しているウェブサイトも数多くある（ページ下の画面参照）。これらのサイトは、GDS／CRSを運営している会社と契約し、その情報を利用者にわかりやすく変換してウェブ上で表示している。利用者が入力した予約リクエストについても、契約しているGDS／CRSに見合う形に変換してデータを流している。そのため、ウェブ上に表示されるデータは、契約しているGDS／CRSに左右されることになる。利用するときには、裏側に存在するGDS／CRSを意識しつつ利用するというのが理想的な姿と言えるだろう。



The SABRE Group
<http://www.sabre.com/>



Galileo International
<http://www.galileo.com/>



アクセス国際ネットワーク
<http://www.axessnet.ne.jp/>



何を重視するかで ホテルの「価値」を決める！

■金銭的な価値

- ・とにかく安い
- ・日本円で支払いが確定している
- ・FTPのポイントを貰える

■設備的価値

- ・部屋が広い
- ・ベッドが大きい
- ・眺望がいい
- ・トイレや浴室が使いやすい

■嗜好的な価値

- ・いつも泊まるホテルチェーンが決まっているなど…

価格調査も手続きも全部やる

ホテルライフに大満足！

海外旅行では、泊まるホテルによって旅の印象が大きく変わる。
インターネットを使えばホテル選びの選択肢が広がるばかりでなく
予約やキャンセルだって簡単だ。

まず目的をはっきり持つ

泊まるホテルを選ぶときは、そこに泊まる「価値」を考えることが重要だ。「とにかく安く泊まれる」ことに価値があるという人もいるだろうし、「朝になって目を覚ますとベッドから海が見える」ということに価値があるという人もいるだろう。たとえば、ワイキキのハレクラニが大好きな人にとっては、仮にロイヤルハワイアンに半額で泊まれるとしても、それは全然価値がないとも言える。

まずは自分の旅行の目的を考え、価値基準をはっきりさせなければ、その先のステップには進めない。

ひたすら多くの情報を集める

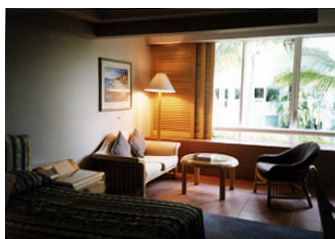
自分の「価値」がはっきりしたら、ホテルの「情報」を集める作業に入る。ホテルの情報は、旅行関係の雑誌や本、旅行会社のパンフレット、ホテルやホテルチェーンが発行する資料などから得ることができる。そこからは、ホテルの雰囲気をはじめ、レストランから部屋に備え付けられている備品に至るまで、各種の設備情報などがわかるはずだ。

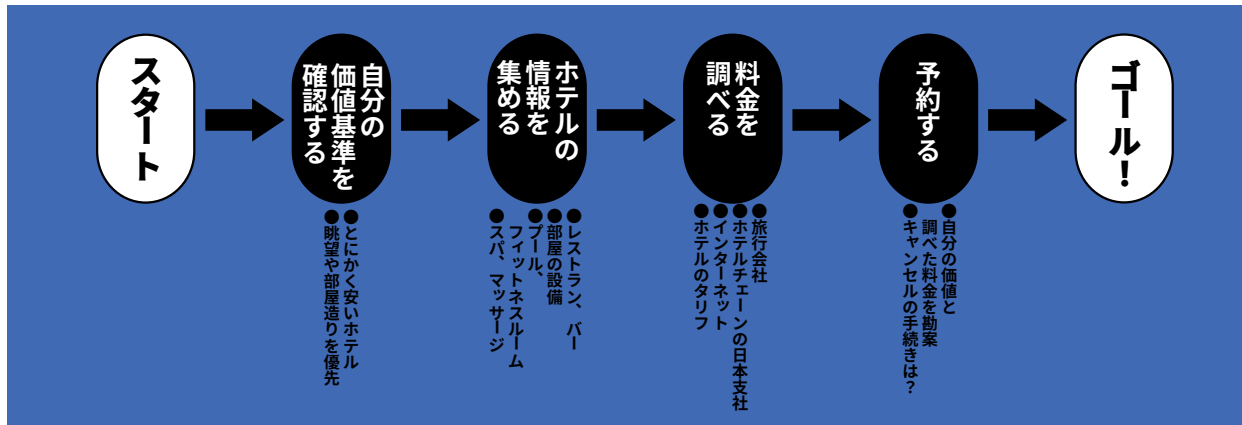
もちろん、これらの情報は多いに越し

たことはない。そこで活躍するのがインターネットだ。ホテルやホテルチェーンのホームページを見たり、旅行会社のホームページを見たりすることで、他のメディアからは得られない豊富な情報を得られる。また、個人的なホームページに自分の旅行記を載せている人も多く、そこには利用者の立場からの情報が掲載されている。

あの手この手で価格を調査

「価値」と「情報」が揃ったら、「料金」を調べよう。ホテルの料金もまた、いろいろなところに示されている。まずは雑誌や本、パンフレットを見て相場をチェックしてみよう。もちろん次はインターネットだ。ホテルの料金を調べられるサイトは数多く存在する。それらでできるだけたくさん見て回り、どれくらいの料金で泊まれるかを調べるわけだ。1つのホテルでも料金は何種類かあるのが普通で、値段ごとに表示される説明をよく読み、部屋のランクがどの程度のものかを把握することが重要だ。インターネットでひと通り調べたら、今度は電話だ。ホテルの日本での代理店、あるいはホテルチェーンの日本支社などに電話して料金を聞くわけだ。もちろん、旅行会





予約までの流れ

社やホテルクーポンシステムなどの会社にも電話したほうがいいだろう。とにかく料金をたくさん調べるのが重要だ。

目に見えない料金も考慮

いろいろな料金が出揃ったところで、いよいよ最終的な判断を下すことになる。料金の高低を考えるときには、税金やサービス料などについても考慮する必要がある。日本で料金を支払ってクーポンを発券してもらシステムなどでは、現地で税金やサービス料を追加されない場合もあるので、単に表面の料金だけを比較してはいけない。

有名なホテルチェーンでは、泊まるごとにポイントが付くFTPプログラム(Frequent Traveler Program)が盛んだ。世界中にチェーン展開しているホ

テルも多いので、泊まるホテルチェーンがだいたい決まっているなら、そのホテルチェーンのFTPプログラムに加入しておくのがいいだろう。ウェブから加入手続きができるところもあるが、電話や郵送で申し込む場合が多い。そのホテルに宿泊することで、将来的に無料特典をもらえることになるわけだから、実際の料金から無料特典の期待値分を差し引いて考える必要がある。

FTPプログラムは、プログラムごとにポイントの加算方法も違うし、ポイントを利用するときの特典表にも差がある。あらかじめそれぞれのプログラムのポイントの金銭的な換算値を用意しておき、調べた宿泊料金からそれに対応する値を引いて考える必要がある(下表参照)。

なお、クーポンシステムや旅行会社を通して予約した場合、FTPポイントの

対象外になることもあるので必ず確認しよう。ここまでやって始めて予約ができるというわけだ。



ホテルのサイトも見逃さない!

グランドワイレアリゾート(ハワイ・マウイ島)のサイトは設備(facilities)や価格(rates)の情報も充実。
<http://www.grandwailea.com/>

高価なホテルもFTPで実質価格は下がる!

ホテル名	価格(1泊)	日数	合計	獲得ポイント	実質価格*
〇〇〇〇ホテル (FTP会員)	20000円	5泊	100000円	3000ポイント (1泊分に相当)	80000円 (100000円-1泊分)
××××ホテル (FTP非会員)	18000円	5泊	90000円	—	90000円

*高価なホテルでも、宿泊することから得られるポイントで無料宿泊の権利が獲得できれば、実質的な価格は下がると言える。価格やポイントなどは例。





ZZ

OO

--

TT

AA

CU

AA

>>

インターネットで予約に挑戦!

ここまできたら、実際にホテルを予約することになる。インターネットを使えば、国際電話で英語を話すことなしにじっくり取り組むことができる。まずは、ホテルの料金を調べたり、予約したりするのに便利なサイトを見ていこう。まずおすすめするのが「TravelWeb」だ。このサイトは、236ページですでに述べたセーバーやアポロ／ガリレオなどのいわゆるGDSには及ばないが、有名どころのホテルチェーンは抑えてある。表示される料金についても、筆者の経験上ではそのホテルチェーン自身のCRSで流されている料金とほとんど同一といえる。

次にお勧めするのが、各ホテルチェーンのホームページだ。日本でも有名な世

界的ホテルチェーンでは、多くはホームページ上でも予約を受け付けている。ヒルトン(Hilton)やホリデイイン(Holiday Inn)などが使いやすく、料金もそのチェーンのCRSの内容がそのまま表示されている感がある。

なお、ハイアット(Hyatt)、ウェスティン(Westin)、シェラトン(Sheraton)、マリオット(Marriott)などのサイトでは、予約ページは前述のTravelWebのページに飛ぶようになっている。

以上の2種類がホテル予約の双璧と言っても過言ではないだろう。これらのサイトでは、FTP番号や法人の契約会社レートの番号も入力できるので、たいへん使いやすい。

これらに続くサイトが3つほどある。1つは「ITN」(Internet Travel Network)で、予約は簡単にできるが、残

念ながら予約の変更やキャンセルには電話を使う必要がある。

次は日本語サービスもある「Travel Now」で、予約は簡単にできるし、キャンセルもできる。ただ、ホテルへのコメントを入れるとオペレーター扱いになるところが不便だし、問い合わせても返答がなかったことが過去に一度あった。

最後は文字ベースのインターフェイスを持つ「easySABRE」(イージーセーバー)だ。セーバーシステムに一番近い情報が出るのは評価できるが、部屋タイプの説明が、システムの制約からか短く簡単なコメントしかなく、詳しくわからないのが難とも言える。また、キャンセルしたときにキャンセル番号が表示されないで、なんとなく不安にさせられてしまう。セーバーを利用したものとしては、他に「Travelocity」がある。

ホテル選びに強い4大サイト

名称	TravelWeb	Internet Travel Network	Travel Now	easySABRE
画面				
ネットワーク	各ホテル会社のCRSと接続	Apolloを中心にSabreなどと接続	Sabreと接続	Sabreに直接
取り扱いホテル数	170か国、26000ホテル	33000ホテル	140か国、30000ホテル	40000ホテル
ユーザー登録	なし	予約には登録が必要	登録可能	予約には登録が必要
予約	可能	可能	可能	可能
キャンセル	可能	電話による	可能	可能
キャンセル番号	発行される	-	発行される	発行されない
割引コードなどの入力	可能	-	-	可能
FTP番号の入力	可能	プロフィール機能で可能	-	可能
日本語サービス	なし	なし	あり	なし
URL	http://www.travelweb.com/	http://www.itn.com/	http://www.travelnow.com/	http://www.easysabre.com/



もっと便利に使うために

キャンセルの可能性も考えたい

ホテルの料金をインターネットで調べるときは、とにかくしらみつぶしに調べる。TravelWeb、各ホテルチェーンのホームページ、ITN、TravelNow、Travelocity、Easy Sabreなど、とにかく調べてみる必要がある。その上で、その中から安いものを選べばいいのだから…。冒頭でも説明したように、同じホテルでも、それぞれのウェブサイトごとに料金が異なっていることがよくあるので、そのサイトで予約するしないは別にして、値段だけは調べておくべきだろう。

さらに、もしキャンセルする可能性があるのなら、ウェブでキャンセルの手続きまで簡単にできるTravelWebなどの、キャンセルしやすい手段を選ぶのが基本になる。また、キャンセル時にキャンセル番号が発行されるかどうかとも重要な点だろう。料金が数ドル程度高くてもこれを保険料と考えて、キャンセル番号まで発行されるサイトで予約を入れるというのがいいかもしれない。

タリフやブローシャーは忘れずに!

実際に宿泊したら、ついでにそのホテルの情報を集めておくといい。これは、次の旅行からのホテル選択の情報源となるからだ。実

際に部屋を使ってみて、たとえば電話機にモデムをつなぐデータポートがあるかどうかとか、市内電話やフリーダイヤルへの通話代とかいう細かいポイントをチェックしておくのもいい。また、エクササイズルームの設備などもチェックしたい。

あと、ぜひとも欲しいのがそのホテルの「ブローシャー」と「タリフ」だ。ブローシャーはホテルの案内パンフレットの一種で、設備の情報などが載っている。そしてタリフは、そのホテルの正規料金（ラックレート）が示されている。ホテルによってはタリフを用意していないところもあるが、逆にリゾート地のホテルなどは、カラー刷りのきれいなものを用意していることが多い。このタリフさえあれば、部屋のおおよその場所もわかるわけだ。右に示したのは、ハワイのハレクラニ（Halekulani）のタリフだ。それを元にTravelWebで料金を見てみると、右のようになる。

インターネットで部屋の料金を調べる場合、表示される価格の諸条件に注意が必要だ。表示されるもののなかには、AAA（American Automobile Association）と呼ばれる日本でいうJAFのような組織の会員向けの価格や、政府や軍関係者用の価格、AARPやSeniorなどの高齢者向け価格などもある。



タリフとウェブで料金を比較!



ハワイ・オアフ島にある5つ星ホテル、ハレクラニ（Halekulani）のタリフ。



TravelWebで見たハレクラニの料金。通常のラックレートに加えて「SPECIAL RATE」が提示されている。

DATA (ホテル編)

名称	URL	予約	キャンセル	備考	248	248
Travelocity	http://www.travelocity.com/	○	○	FTP番号、割引番号の入力可。		
Hilton Worldwide	http://www.hilton.com/	○	○	HiltonのCRSシステムを利用。FTP番号や各種割引コード入力可。		
Holiday Inn	http://www.holiday-inn.com/	○	○	FTP番号、コーポレートIDの入力可。		
Hyatt Hotels and Resorts	http://www.hyatt.com/	○	○	予約はTravelWebのシステムを利用。		
Westin Hotels and Resorts	http://www.westin.com/	○	○	予約はTravelWebのシステムを利用。		
Marriott International	http://www.marriott.com/	○	○	予約はTravelWebのシステムを利用。		
Sheraton Hotels and Resorts	http://www.sheraton.com/	○	○	予約はTravelWebのシステムを利用。		
Aston Hotels and Resorts	http://www.aston-hotels.com/	○	○	ハワイを中心に展開するホテル会社。コンドもある。		
Outrigger Hotels & Resorts	http://www.outrigger.com/	メール	×	ハワイを中心に展開。		
Ritz-Carlton	http://www.ritzcarlton.com/	○	○	予約はTravelWebのシステムを利用。		

航空券選びはここにこだわる！

■金銭的な価値

- ・とにかく安い
- ・FFPのポイントがもらえる

■設備的価値

- ・好きな座席に座れる
- ・座席の足元が広い
- ・スクリーンが見やすい
- ・座席クラスのグレード

■嗜好的な価値

- ・好きな航空会社
- ・好みの機体
- ・機内食のメニュー
- ・直行便が経路便など…

航空券も思いのまま！

海外旅行に必要なのは、ホテルと飛行機。何はともなし、航空券がなければ話にならない。ここでもインターネットを使えば、空席状況の確認はもちろん座席の指定まで入れられる。

ルート検索から座席指定もOK

いまやFFPは社会現象に！

ここ数年、航空券の市場は大きく様変わりした。読者の中にも、幅運賃、ゾーン運賃、正規割引運賃などという言葉を一度は耳にしたことと思う。また、顧客プログラムであるFFP（Frequent Flyer Program）やFTP（Frequent Traveler Program）といった制度も一気に浸透してきた。もちろんインターネット上にも航空券の情報がたくさん提供されている。これを使わない手はないだろう。

予約コード	AVAILABILITY
F9 C9 D9 Y9 B9 M9 H9 Q9 V0 S0 W0 T9 K9	
L9 A9	残席数

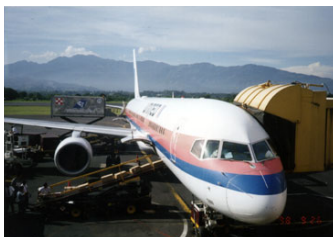
ITNではこのように空席状況がわかる。残席数は常に1桁なので、10席以上残っていても9と表示される。

まずは相場を調べてみる

チケット（航空券）を購入するときにまず必要なのは、その値段を調べることだ。たいたいの日程と行く場所が決まったら、旅行雑誌を手に入れたり、旅行会社に電話して聞いたり、インターネット上で価格表を見たりして、とにかく多くのチケットの値段や条件を調べる。旅行会社の中には、ディスカウントチケットの価格をたくさんホームページに載せている会社もあるので、それらの料金を参考にする。また、最近はやりの正規割引運賃は、各航空会社のホームページにも価格表が示されていることが多いので、それを見ればよい。

飛行機の座席クラスの種類について

飛行機内は最大3つのクラスに分かれていて、それぞれファースト（F）、ビジネス（C）、エコノミー（Y）と呼ばれることが多い。これに対して航空券は種類が多く、ひどいときは1つの路線に対して100以上もの価格が存在する。それぞれFare Basisという運賃コードと、予約クラスが設定されている。多くの場合、予約コードのP、F、Aが搭乗クラスのFとなり、予約コードのJ、C、Dが搭乗クラスのCとなり、それ以外はYとなる。予約はこの予約コードを利用するので、搭乗クラスとしてのYに空席があるときでも、予約コードのYなら席が取れるが、予約コードのVだと席が取れないといったこともある。



POINT



スケジュールのチェック

フライトスケジュールは、各航空会社のホームページでも提供している。しかし一番のおすめはITNである。ITNを利用するにはユーザー登録が必要だが、一度FFPやFTP、レンタカー会社の会員番号などを登録しておけば、次回以降はその情報をもとに予約などのサービスを利用できる。このプロフィールのメニュー画面の「Display Preferences」で、「Availability Format」を「an expert」と指定すると、残席情報が数字で表示されるようになる。

支払い方法もさまざま選べる

正規割引運賃を使う場合は「インターネットで申し込んでクレジットカード払い」ということも可能だ。しかし、いわゆる格安航空券の購入は、旅行会社に行くか、電話で申し込む方法が一般的だ。購入する際は、その後の変更やキャンセルのときの手数料をよく確認してから申し込むことが重要だ。出発日の1か月前から手数料がかかる旅行会社から、発券作業に入る前（俗にファイナル前という）なら手数料がかからない旅行会社までさまざま。もちろん、それぞれ航空券の料金も違うわけで、すべての条件を総合的に判断して購入する会社を決めればよい。

座席にもこだわりたい!

航空券を購入したら、次は座席の予約である。割引のないいわゆるフルフェア（Full Fare）と呼ばれるノーマルチケットは当然だが、正規割引運賃でもあらかじめ座席予約ができるものが多い。また航空会社の中には、ディスカウントチケットでも座席予約ができる会社もある。たとえばユナイテッド航空では、チケットが事前渡しならディスカウントチケットでも座席予約ができる。

航空会社によっては、時刻表に座席配置表を載せているところもあるので、それを参考にすれまいのだが、こんなときこそインターネットを活用したい。たいいてい航空会社は、座席配置表をホームページで公開している。

こうして座席の現状を見たらうえて自分の好みの座席を決め、予約センターに電話をすれまい。「Screen Front」（中央スクリーンの前）や「Exit Rows」（非常口に面した席）を選べば、足元に若干ゆとりがあり、ゆったり足を伸ばすこともできるわけだ。そうそう、Exit Rowsは客室乗務員と英語によるコミュニケーションが取れる人しか座れないことになっているので、注意が必要だ。

フルフェアチケットや正規割引航空券の場合は、これらのシステム上で予約、支払い、座席の選択まで行える。予約センターに電話をする必要すらない。

希望の座席をキープする!



ここではユナイテッド航空のサービスを紹介する。ユナイテッド航空は、ホームページ上で「United Connection on the Web」を公開し、フライトだけでなくホテルやレンタカーの予約も受け付けている。実際はITNのシステムをそのまま使っているので、正確にはITNが提供しているサービスとも言える。このサービスでは現在の座席表の確認や、座席の予約もできる。また、「United Connection」という専用ソフトのシステムでは、表示のされ方も少し異なる。

<http://www.ual.com/>



フライトを選択して「Choose Your Seats」をクリックする。



現時点での空席状況が表示される。

DATA (航空券編)

名称	URL	予約	キャンセル	備考
ISIZE TRAVEL	http://www.isize.com/travel/	一部可	×	格安航空券などの価格が見られる。
H.I.S. Co.,Ltd.	http://www.his-j.com/	×	×	言わずと知れた旅行代理店。格安航空券の価格が見られる。
Japan Airlines	http://www.jal.co.jp/	×	×	JMB会員は、ウェブ上で国際線の予約も可能。
United Airlines	http://www.ual.com/	×	×	「United Connection on the Web」でスケジュールなどが見られる。
Northwest Airlines Japan	http://www.nwa.co.jp/	○	○	ワールドウェブ・リザーベーションでオンライン予約可能。

※予約は米国在住者に限る



エンターテインメントは これが決め手だ!

■金銭的な価値

- ・とにかく安い
- ・クレジットカード決済 & チケット当日渡し

■設備的価値

- ・スタジアムや劇場の設備
- ・座席の位置
- ・会場へのアクセス方法

■嗜好的な価値

- ・出演者や演目の好み
- ・スポーツの対戦カードなど...

ZZ
OO
II
TT
AA
CU
AA
V>

情報集めから予約まで

エンターテインメントに 酔いしれる

「ニューヨークで野球が見てみたい」、「ロンドンのストレートプレイのチケットが欲しい」…。

インターネットならお手のもの。スケジュールのチェックからチケット購入までOK、もちろん座席だって指定できる。



手数料でチケットが1.5倍にも!

海外旅行に行く目的の1つとして、コンサートや演奏会に行ったり、ミュージカルや劇を観たり、スポーツを観戦したりすることを挙げる人は多いだろう。「びあ」や「チケットセゾン」などのチケット販売サービス会社では、日本で買われるイベントのチケットを販売するだけでなく、海外のチケットも販売している。これらは出発前に日本円で払って購入するものだが、チケット価格には現地の手数料に日本での手数料が加えられ、元の価格の1.5倍以上になってしまうこともある。また、クレジットカード会社のサービスを利用する方法もある。主要なクレジットカード会社は海外の主要都市に拠点を持っていて、そこでいろいろなリクエストに応じるサービスをしている。日本で依頼すると、現地でチケットを手配してくれるわけだが、この場合もちろん手数料が必要となる。ただ、この手数料はカード会社によって

1件あたり3,000円とか、1枚あたり1,000円とかさまざまだ。利用するときにはよく調べる必要がある。

インターネットで手数料を節約

ところがインターネットで日本から予約・購入すれば、手数料を大幅に節約できる。チケット予約の大御所サイトと言われる「Ticketmaster」と「Telecharge」ではそれができるので利用価値が高い。

Ticketmasterはコンサート、スポーツ、劇場、アートなど各種イベントのチケットを販売している会社で、アメリカだけでなくイギリス、カナダ、オーストラリア、メキシコでも販売している。

これに対してTelechargeはニューヨークのブロードウェイの劇場を中心に扱う会社で、シュバートシアターやジュジャムシンシアター系の劇場、リンカーンセンターなどの劇場を扱っている。また、時にはテニスのUSオープンなどのチケットを扱うこともある。



Ticketmaster USA

<http://www.ticketmaster.com/>



Telecharge

<http://www.telecharge.com/>



大リーグの本場に行って ヤンキースの試合を見る

海外でのイベントのチケットを入手するためには、まずスケジュールを調べることから始まる。たとえばアメリカの大リーグのチケットなら、野球専門誌や海外旅行誌などのイベント情報ページを見て、「いつ」、「どこで」、「どのチームの」

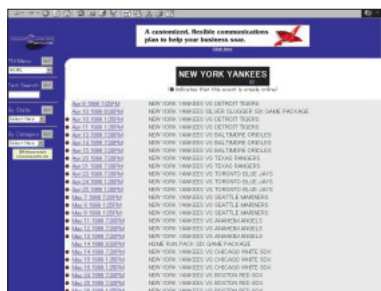
試合があるかを調べるわけだ。もちろん、インターネットでも調べられる。メジャーリーグはオフィシャルサイトを持っていて、そのホームページで試合のスケジュールを提供している。また、自らホームページを持ってスケジュールなどを提供しているチームもある。

ここでは、実際にヤンキースのチケットを予約する手順を解説しよう。ニュー

ヨークヤンキースのチケットは、Ticketmasterでも取り扱っている。Ticketmasterでは、インターネット上でオンライン購入ができるので、ヤンキースのチケットが日本から買えるわけだ。

Yankees.com

<http://www.yankees.com/web/home/main.html>



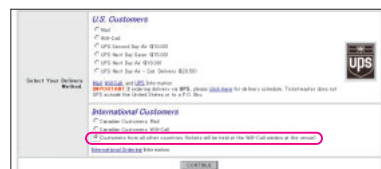
① 購入できるチケットを確認

Ticketmasterのトップページから「SPORTS」→「NEW YORK YANKEES」、またはサーチ機能を使ってヤンキースのスケジュールのページへ。今年のホームゲームがリストアップされている。赤丸は、そのゲームのチケットをオンラインで購入できることを示す。



② 座席ランクや枚数を指定

日時を選択して「Buy Tickets Online!」を押すと申し込みの最初の画面が出る。欲しいチケットのランクや枚数を入力する。また、スタジアムの座席表を表示させてチケットのランクを確認してもいい。



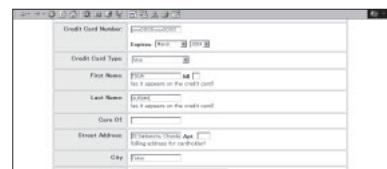
③ 「海外からの購入」を選択

注意したいのは「Select Your Delivery Method.」だ。ここで必ず「International Customers」の「Customers from all other countries」を選ぶ。これにより、開催場所の「Will-Call」という窓口でチケットを受け取れるようになる。日本から購入する際は、このオプションしか選べない。つまり、このオプションが選べなければ、海外から購入できないことになる。



④ 座席を確認

「CONTINUE」をクリックして「Terms and Conditions」を確認したうえで次に進むと、該当するチケットを選び出してその情報を表示してくれる。そこには座席番号まで表示されている。座席が気に入らないときは下の「Reselect Seats」をクリックして選び直せばいい。



⑤ クレジットカード番号を入れる

座席を決めたら、クレジットカード番号を入れてチケットを購入する。住所は日本の住所を入れ、メールアドレスを必ず入れる。また、滞在しているホテルなどの電話番号を入れておけば、不測の事態のときの連絡方法になる。

⑥ 現地窓口の場所を確認

Will-Call窓口の場所は「Venue Information and Directions」に表示される。チケットを受け取るときは購入時に使用したクレジットカード、2種類のID（うち1つは写真付き、パスポートで可）を示せばOKだ。

予約完了!

ホームランボールも取れるかも!?



予約の際にはシートマップも確認できる。



ZZ
OO
--
TT
AA
CU
AA
>>

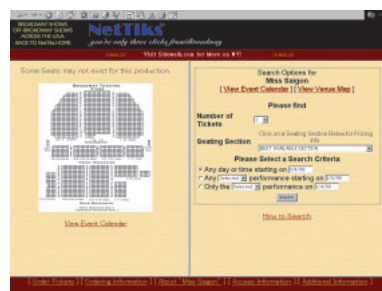
ブロードウェイでミュージカルを見る

ミュージカルやストレートプレイといえば、ニューヨークとロンドンが有名だ。どちらも、毎日信じられないぐらい多くの演目を上演している。読者の中にも、一度は見てみたいという方もいるだろう。ミュージカルなどのチケットを購入する場合も、やはり情報は重要だ。劇場の情報は各種専門誌に詳しいし、海外のイベントを取り扱っているチケット会社にも情報がある。しかし、生の情報という点では、インターネットを使うのが一番だ。特に、ブロードウェイの劇場に関する情報なら、最初に「Playbill」のホームページを見るといい。各演目の基本的な公演パターン、料金レンジ、内容、クレジットなどとともに、これまでのニュースなども見られる。

ブロードウェイの劇場のチケットは、前述したTicketmasterでも扱っている。ニューヨークヤンキースの場合と同様に購入できる。Ticketmasterで扱っていないときは、Tele-chargeを見ると

よい。ほとんどのブロードウェイのチケットは、TicketmasterかTele-chargeのどちらかで扱っていると考えてよい。

またPlaybillのホームページには、「Buy U.S.TICKETS」と「Buy LONDON TICKETS」が用意されている。前者に進むと、そこがTele-chargeのホームページとなる。なお、後者のロンドンの場合、購入は電子メールでのやり取りで行い、チケットの受け取りもブローカーのオフィスが基本となるので、すこし使いづらいかもしれない。



① 演目を選んで枚数などを入力

Tele-chargeのトップページで「BROADWAY」、「OFF BROADWAY」、「ACROSS THE U.S.A.」の中からどれかを選び、演目リストを表示させる。「EVENT」で演目名を、「VENUE」で開催劇場をそれぞれ確認し、欲しいものをクリックして進んでいくと、欲しいチケットの枚数や、上演日の選択ページとなる。このページはフレーム機能を使って表示され、左側に座席表がスケジュールカレンダーが表示される。右側では、枚数や日時を入力したり、その結果が表示されたりする。日時の指定には3種類の方法から選べるので、自分の都合に応じて選べば良い。欲しいチケットが決まったら「Inquire」を押す。



② 座席を確認する

該当するチケットが選ばれ、座席番号も表示される。座席を確認して気に入ったら購入し、気に入らなかったらさらに選び直したり、別の日時で検索したりすればいい。



③ 国外からの購入をチェックする

アメリカ国内からの購入者用と国外からの購入者用で別々に住所を入れる欄が用意されているところがある。ここでは、かならず国外者用の欄に入力すること。なお、国内での購入ではチケットは郵送で送られるが、国外からの購入の場合は、劇場のBox Officeにチケットが用意される。

開催日は少し早めに劇場に行き、支払いに使ったクレジットカードを提示すればよい。すでに用意されていたチケットが渡されるはずだ。チケットを受け取ったら、チケットが入っていた封筒か、あるいはチケット上に自分の名前が示されているのを確認すること。



Playbill On-line

<http://www.playbill.com/>



世界中のイベントをチェックする!

イギリスでの予約も簡単!

これまで紹介してきたTicketmasterとTele-chargeはアメリカの国内イベントのチケットを扱っているが、ここではイギリスの場合を見てみよう。

Ticketmasterはイギリスにもある。ホームページの操作方法是アメリカのサイトとほとんど同じなので、何の問題もないだろう。

スケジュールから希望の日時を選んだ後は、必ず「Non UK Users」を選ぶ。そうすると、次の画面ではチケット受け渡し方法として「Box Office Collection」のみが選択可能になる。アメリカの場合と同様に座席番号も表示されるので、納得いくまで選ぶことができる。

なお、Ticketmaster、Tele-chargeとも、予約が成立した段階でConfirmation（予約確認）番号が表示されることがある。番号が表示されたら、購入時にその番号が必要になる場合があるので、必ず番号を控えておこう。

その気になればF1だってOK

TicketmasterとTele-chargeは、両方とも有名な会社であり、なおかつインターネットでチケットを購入できる便利な会社だ。アメリカやイギリスでのごく普通のイベントならこの2社で問題はないが、1年に一度しかないイベントとか、4年に一度のオリンピックとかはどうだろうか。

インターネット上では多くのサイトがチケットサービスを行っている。たとえば自動車レースで言えば、F1のモナコグランプリのチケットを販売しているサイトもあるし、インディ500のチケットを販売しているサイトもある。いずれも、ホテルや現地までの交通手段を一緒にしたパッケージとしても販売している。

これらを利用して購入するときは、よくて電子メールでのやりとりまでで、購入までウェブで行えるサイトは少ない。実際に利用する場合は、商売上の信頼性も問題となることがある。いずれも慎重に行うに越したことはない。

海外の展示会も事前にチェック

『コムデックス』や『Networld + Interop』などの外国での展示会に出張するときには、事前にウェブをチェックすることを是非おすすめしたい。インターネットによる事前登録ができる場合も多く、キーノートによる講演やカンファレンスの予定表も掲載されている。

また、展示会がいくつかの会場で分散して行われる場合や、ホテルから会場までの距離がある場合などは、シャトルバスなどの運行状況を知っておけば移動の際にも便利だ。会場へのアクセスが便利なホテルを選ぶことも上手な出張のテクニックと言えるだろう。本誌などの「イベントカレンダー」も出かける前に必ずチェックしたい。



Ticketmaster United Kingdom Online
<http://www.ticketmaster.co.uk/>



4月12日から16日までロスアンゼルスで開催される『インターネットワールド'99』
<http://events.internet.com/spring99/>

DATA (エンターテインメント編)

名称	URL	予約	備考
Ticketmaster USA	http://www.ticketmaster.com/	○	アメリカのTicketmaster。
Tele-charge	http://www.telecharge.com/	○	アメリカのTele-charge。
Playbill On-Line	http://www.playbill.com/	—*	アメリカのPlaybill。信頼できる劇場情報やニュースも豊富。
Ticketmaster United Kingdom Online	http://www.ticketmaster.co.uk/	○	イギリスのTicketmaster。
Ticketmaster Online Australasia	http://www.ticketmaster.com.au/	○	オーストラリアのTicketmaster。
Ticketmaster Canada Home Page	http://www.ticketmaster.ca/	○	カナダのTicketmaster。
Ticketmaster On-line (Mexico)	http://www.ticketmaster.com.mx/	○	メキシコのTicketmaster。ただしスペイン語。

※アメリカでのイベントはTele-chargeの予約システムを利用。



陸上交通は こうして決める！

■金銭的な価値

- ・とにかく安い
- ・移動にかかる時間とその料金
- ・メンバー特典が受けられる

■設備的価値

- ・車種と装備
- ・座席の座り心地
- ・寝台設備がある列車か
- ・バス内にトイレがあるか

■嗜好的な価値

- ・交通手段の好み
- ・いつも同じレンタカー会社を利用
- ・車窓の景色を楽しむなど



車の手配から時刻表の確認まで レンタカー、バス、鉄道も 自由自在！

レンタカーや鉄道、長距離バスといった現地での移動手段も出発前に手配したい。
レンタカーの手配やバス・鉄道の予約や時刻表の確認にもインターネットは活躍してくれる。

レンタカーの予約

利用するレンタカー会社が決まってい
ないときは、何社かのサイトを見ること
から始めよう。特別なプロモーションを
紹介したページなどは、要チェックであ
る。さらに、ITNやSABREなどのCRS
システムも見て、インターネット上で一
番安い価格を見極める。最後に、レン
タカー会社の日本の予約センターに電話
をして料金を聞くことも忘れずに。

欧米系のレンタカー会社を日本で予
約する場合、日本人向けや外国人向け

の特別料金を用意している場合がある。
たとえばハーツ (Hertz) には、「アフ
ーダブルワールド」という長期利用向け
に特に安い料金や、あらかじめクーポン
券を購入する「ドライビングクーポン」
システムがある。また、クレジットカード
会社によってはレンタカー料金が割引
になることもある。

通常レンタカー会社の特別料金には
コードや番号が付いているので、それを
知っていればインターネット上でも予約
できる。ハーツではCDP番号とPC番号
を、エイビスではAWD番号とRateコ
ードを入力できるなど、ほとんどのレン

タカー会社でこうした特別料金コードの
指定が可能だ。

また、あらかじめ居住国の入力を行う
ことが多く、この場合日本人向けなど
の特別料金も考慮したうえでの料金が
表示される。

価格を検討する際には、表面上の金
額だけでなく、さまざまな追加料金を考
慮することも必要だ。レンタカー会社や
レンタルする場所によっては、空港使用
料とかファシリティ（設備）使用料が
加算されることもある。

さらに、自分が加入している保険もよ
く理解して、無駄のないようにしたい。

① 予約ページへは「RATES & RESERVATIONS」をクリック。次の画面では、メンバーシップ情報か、メンバーでない旨をチェックする。
<http://www.hertz.com/>

② 住んでいる国や車をピックアップする時間、返却予定時間、航空便の情報、レンタカーを利用する場所を選択する。

③ 表示された内容を確認のうえ、必要事項を記入していこう。

④ 料金などが表示されるので、確認の上でクレジットカード番号などを入力して予約を行う。予約画面は念のため印刷しておこう。

ハーツでレンタカーを手配



世界の鉄道も手配できる

鉄道会社のホームページは思ったより多い。鉄道関係の情報はなかなか手に入りにくいだけに、インターネットで得られる情報は重要だ。海外旅行で「予約して鉄道に乗る」というのは、日本で言う特急列車や観光列車が主になる。オリエント急行、フランス新幹線のTGV、ドーバートネルを通るEurostar、スイスの氷河特急、スペインのタルゴ、アメリカやカナダ、オーストラリアの大陸横断鉄道など、数え上げればきりが無い。

インターネットがなければ、雑誌や海外鉄道時刻表でスケジュールを調べ、旅行代理店に申し込むことになる。チケットは国内か現地の提携旅行代理店で渡されるのが普通だ。

現状で、日本から予約ができるウェブは極端に少ない。ただ、最終的に購入はできなくても、スケジュールと料金を知る手段としては有効だ。

鉄道会社で日本から予約や購入ができるウェブとしてはアメリカのAmtrakがある。シカゴからデンバーを経由してロッキー山脈を越え、サンフランシスコまでを2泊3日で走るカリフォルニアゼファー (Zephyr) 号など、寝台付きの観光列車が数多くあって有名だ。

インターネットで利用するにはユーザー登録が必要だが、料金は必要ないのでアカウントを作ってみるといいだろう。ルート地図、寝台車の構成やサービス、PDF形式の時刻表など何でも揃っている。出発駅と目的地、乗車日を入力するとスケジュールと料金が表示され、寝台車などの座席クラスも選択できる。日本から購入する場合は、チケットを出発駅で乗車当日に受け取るように指定する。たいていの大きな駅ではこの扱いが可能だ。

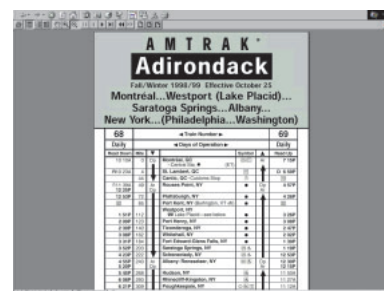
当日は窓口で、支払に使ったクレジットカードと写真付身分証明書 (パスポートでOK) を見せるだけでチケットを渡してくれる。

バスの運行状況はガイド本より便利!

バスについて欲しい情報と言えば、運行スケジュールが第一ということになる。特に、長距離バスはあらかじめスケジュールがわからないとどうしようもない。路線や季節によっては混んで乗れないこともあるかもしれないので、あらかじめ予約ができればベストだ。

バス会社のホームページもいくつかあるが、数はそれほど多くない。その中でおすすめなのは、アメリカの長距離バス

会社として有名なグレイハウンド (Greyhound) のホームページだ。ここでは、特別なプロモーションやアメリカバス (決められた期間乗り放題のチケット) の情報などもある。残念なのは、インターネット上でチケットを購入できないことだ。あらかじめチケットを購入するには、チケット売り場に行くか、電話で購入するかのどちらかとなる。



AmtrakではPDF形式の時刻表を見られる。

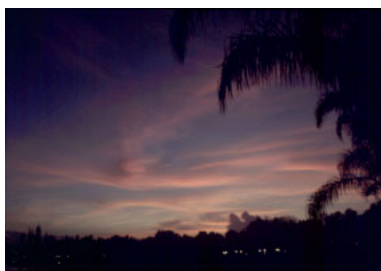


アムトラックでシカゴ〜サンフランシスコの列車を予約。

<http://www.amtrak.com/>

DATA (レンタカー、バス、鉄道編)

	名称	URL	予約	キャンセル	備考
レンタカー	Hertz Rent A Car	http://www.hertz.com/	○	○	居住国、CDP-ID、PC、FFPなど入力可。
	Avis Rent A Car	http://www.avis.com/	○	○	居住国、AWD、Rate Code、FFPやクーポン番号入力可。
	National Car Rental Online	http://www.nationalcar.com/	○	○	居住国、割引番号、Rate Code、クーポン番号などが入力できる。
	Budget Rent A Car	http://www.drivebudget.com/	○	×	割引番号など入力可。
鉄道	Amtrak	http://www.amtrak.com/	○	×	アメリカのアムトラック。
	VIA Rail Canada	http://www.viarail.ca/	メール	×	カナダのViaRail。予約に対しては担当者がメールで回答。
	Alaska Railroad	http://www.akrr.com/	メール	×	アメリカのアラスカ鉄道。日本語情報もある。
	Napa Valley Wine Train	http://www.winetrain.com/	メール	×	アメリカのナパバレー・ワイントレイン。
	Eurostar	http://www.eurostar.com/main.html	×	×	ユーロスター。
	Orient-Express	http://www.orient-express-trains.com/	×	×	オリエント急行。
	Australian Rail Adventures	http://www.gsr.com.au/	×	×	オーストラリアのGreat Southern鉄道。ザ・ガンなどの情報がある。
バス	The Greyhound Internet Station	http://www.greyhound.com/	×	×	アメリカの長距離バスのグレイハウンド。チケットの購入は不可。
	Greyhound Canada	http://www.greyhound.ca/	×	×	カナダのグレイハウンド。チケットの購入はできない。



これまで紹介してきた数々のノウハウを使って
ここでは実際に海外旅行を計画してみよう。
今回は右の「旅の条件」に基づいてハワイ旅行を手配する。

実践！ インターネットで 格安ハワイ旅行に挑戦！



愚留目都亜の選択

TravelWeb

(<http://www.travelweb.com/>)

2名5泊

1676ドル (201120円)

通常料金より

119880円お得！



旅の条件

1. 旅行期間は5月22日～28日(5泊7日)
2. 人数は2人でハワイになるべく安く
3. ロイヤルハワイアンホテルに宿泊
4. 海が見える部屋がいい
5. ノースウエスト航空(エコノミー)で
6. レンタカーはハーツかエイビス



ホテル編

ホテルでの快適さは旅の満足度を大きく左右するので、ホテル選びは慎重に行いたい。そこで今回の旅行では、ワイキキビーチの正面に位置するザ・ロイヤル・ハワイアンに宿泊することにした。顧客名簿には世界の王族や各界の著名人が数多く名を連ねているという、豪華な5つ星ホテルだ。

まずは通常の料金を知るためにタリフをチェックしてみたところ、海の臨める「TOWER OCEAN FRONT」が1泊あたり535ドル(2名)とある。次に、同ホテルが属しているシェラトンの予約センターに電話で問い合わせたところ、こちらも535ドルという返事。ただ、電話でSPG(シェラトングループな

どのFTP)メンバーなら35%割引が受けられる旨を聞くことができた。

ここからがインターネットの出番になる。TravelWebで検索してみると多くのレートが表示されるが、その中に「SURE 5TH NITE FREE」なる記述を発見した。これは「5泊すれば、5泊目は無料になる」ということで、つまり4泊分の料金で5泊できるという特別レートだ。ちなみに他のウェブでも同じレートが「BEST AVAILABLE RATE」(一番お得な料金)として表示された。このような特別レートが出ているから、インターネット予約はやめられない。ホテルはこれで決まりだ！

ホテル(The Royal Hawaiian)の価格一覧表

	1泊の価格 (2名1部屋)	合計(5泊)	備考
タリフ	535ドル	2675ドル(321000円)	通常料金
電話	535ドル	2675ドル(321000円)	SPG会員は35%引き
TravelWeb	419ドル	1676ドル(201120円)	5泊で1泊無料のプランを利用
ITN	419ドル	1676ドル(201120円)	5泊で1泊無料のプランを利用
easySABRE	419ドル	1676ドル(201120円)	5泊で1泊無料のプランを利用
TravelNow	419ドル	1676ドル(201120円)	5泊で1泊無料のプランを利用
TravelNow(日本語)	419ドル	1676ドル(201120円)	5泊で1泊無料のプランを利用
APPLE HOTELS	69400円	347000円	クーポン制を採用、税・サービス料込み

※宿泊には別途税金(10.16%)が加算される。料金は99年3月12日現在(120円/1ドル)



航空券編

今回の旅行はノースウエスト航空を利用する。ノースウエストはホノルルに向けて東京から1日2〜3便飛ばしており、アクセス手段としては申し分ない。

まずはノースウエストの予約センターに電話で問い合わせたところ、67000円との回答を得ることができた。

ノースウエストでは6月30日までにインターネットで航空券を購入すると、もれなく1000マイルがボーナスとしてもらえるのも、FFP会員にとっては嬉しいサービスだ。次に旅行代理店に電話して問い合わせる。ここでは63000円という料金を提示される。次はインターネットだが、今回はリクルー

トが提供しているISIZEで検索してみることにする。ISIZEには多くの旅行代理店が情報を掲載しており、時折思わぬ掘り出し物が見つかることもある。今回も、なんと54900円という格安航空券を見つけることができた。オンラインで申し込むこともできる。航空券はこれに決めよう!

航空券編(ノースウエスト航空)の料金一覧表

	価格(往復、1人)	備考
ノースウエスト	67000円	正規割引運賃。ウェブで予約すればボーナスマイル
旅行代理店	63000円	格安航空券
ISIZE.com*	54900円	リクルートのISIZEで見つけた格安航空券

※99年3月12日現在 *http://www.isize.com/



愚留目都亜の選択

ISIZE.com

54900円×2人

109800円

正規割引運賃より

24200円お得!

番外編：レンタカー

ハワイでは何と言ってもレンタカーが便利だ。左ハンドル・右側通行とは言っても、日本のようにひどい渋滞もないので、初めての人でも慣れるのにそれほど時間はかからないだろう。

今回はハーツ(Hertz)とエイビス(Avis)の料金を調べてみた。注意したいのは保険の扱いで、提示された料金に保険が含まれているのが確認が必要だ。

まずは両者ともに予約センターに電話して問い合わせる。今回はレンタカーを5日間利用することになるが、多くのレンタカー会社では5日以上1週間以下の日数には特別レートを用意しているので、そうした割引料金にも注意する必要がある。

インターネットでは、ITNやeasySABREといったGDS系のウェブよりも、ハーツやエイビスのオフィシャルサイトのほうが便利で価格も安い。ただ、今回は電話で問い合わせたAVISの185ドルというのがもっとも安かったため、それを利用することにしたい。レンタカー

		価格	備考
ハーツ	Hertz.com	195ドル(23400円)	1週間料金。LDW(車両保険)も含む
	電話	195ドル(23400円)	1週間料金。LDW(車両保険)も含む
	ITN	195.65ドル(23478円)	39.13ドル/日
	easySABRE	489.99ドル(117478円)	ウィークリー料金
エイビス	Avis.com	255.9ドル(30708円)	155.95ドル/日にLDW(16.99ドル/日)を加算
	電話	185ドル(22200円)	LDW(車両保険)含む
	ITN	309.95ドル(37194円)	61.99ドル/日
	easySABRE	265.99ドル(31918円)	

※料金は3月12日現在(120円/1ドル)



愚留目都亜の選択

エイビス(予約センター電話問い合わせ)

185ドル(22200円)

ハーツのクーポン(27300円)より

5100円お得!

結果

ホテルと航空券の予約が終われば、自分だけの“自由旅行”は完成だ。なお、今回は現地の移動手段にレンタカーも番外編として予約に挑戦した。予約の際に注意したのはパスポートの残存期間など、入国にあたっての条件だ。事前に政府観光局などの情報は必ずチェックしておこう。

これで、インターネットを使って情報収集や予約を行うことがいかに重要かがわかってもらえたのではないだろうか。実際にインターネットを使って予約したほうが安くな

るケースも多く、その割引額もバカにならない額だ。またホテルなどのキャンペーン情報は、比較的早くウェブに反映されるので、今回のように有利な割引料金を見つけられることも少なくないだろう。

ちなみにバックツア―は…

A社: 498000円(249000円/1人)

B社: 460000円(230000円/1人)

※バックツア―も同じホテルに宿泊。バックツア―には、添乗員(もしくは現地係員)の案内や空港の送迎などのサービスが付くが、レンタカーは付かない。



結果発表!

愚留目都亜の選択

2人で行く
5泊7日ハワイの旅

333120円

(166560円/1人)

5つ星ホテル+航空券+レンタカー

120円/1ドル(3月12日)



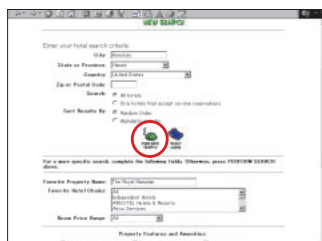
徹底ハウツー

ホテル予約の達人になって 自慢の展望も独り占め!

たまには贅沢にホテルライフを過ごしてみたい。展望がいいホテルでは、自慢の眺めも満喫したい。そのためにはホテル選びはもちろんだが、それ以上に部屋選びが重要だ。ここではTravelWebを使って、前のページで紹介したロイヤルハワイアン(The Royal Hawaiian)に実際に予約を入れ、その流れを徹底的に解説する。



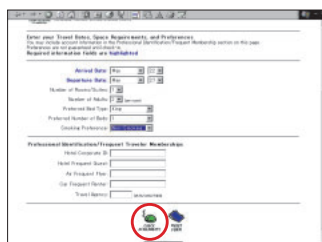
① TravelWebにアクセスして「HOTEL SEARCH」をクリックする。



② 行き先などを入力して「PERFORM SEARCH」をクリック。



③ 表示されたホテル名を確認して「BOOK IT」をクリック。



④ 日程、部屋数、人数、ベッドタイプ、ベッドの数、喫煙について入力して「CHECK AVAILABILITY」をクリック。



⑤ 価格のリストが表示されるので、宿泊したいタイプの「SELECT RATE」をクリック。ここから先はSSLで暗号化される。



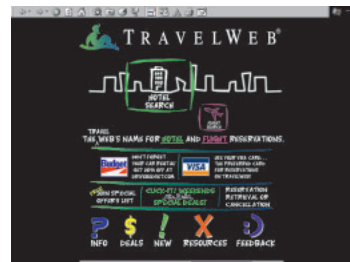
⑥ 予約の申し込み画面。内容を確認のうえ必要事項を入力し、メールアドレスやクレジットカード番号を入力して「RESERVE NOW!」をクリック。



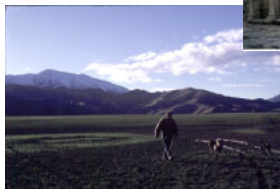
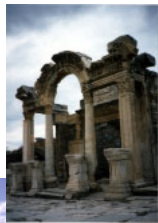
⑦ 予約終了。この画面はプリントアウトしておくといだろう。「Confirmation Number」は必ず控えておく。

予約完了!

キャンセルはここから



成立した予約をキャンセルする場合は、トップページの中ほどにある「CANCELLATION」をクリックして行う。その際に「Confirmation Number」が必要になる。



格安海外旅行は
インターネットで決まり!



「自由旅行」には インターネットが 必須になる

この記事のまとめとして、筆者のこれまでの経験に基づいたインターネット時代の旅の予約手順を振り返ってみたい。個々の詳しい手順についてはこれまでたっぷりと述べてきたので割愛するが、こうして流れを見てみると、従来の旅行の予約とはまったく異なることがわかってもらえるはずだ。それこそがインターネット時代の旅行の楽しみ方、まさに“Do it yourself”の喜びだ。

まずはフライトである。FFPとの兼ね合いから、可能な限り1社あるいは1グループの利用にまとめるのが望ましい。筆者はルフトハンザ航空やユナイテッド航空が所属する「スターアライアンスグループ」を主に利用している。通常はエコノミークラスを利用するので、最初は格安航空券の価格をウェブと電話を使って調べる。また、正規割引運賃を知るために、easySABREやアクセストラベラーズ(Axess-Travellers)を利用する。スケジュールとAvailabilityのチェックは、アクセストラベラーズとITNを利用している。その際予約クラスは「S」や「W」を一応の目安として見ている。FFPの特典を使ってファーストクラスやビジネスクラスを利用することも多いが、その際は予約クラスの「A」や「D」を目安としている。

次はホテルである。筆者の好みで、いつ

もHyatt、Westin、Sheraton、Hilton、Marriottなどのチェーンのホテルを利用している。そこで、まずはインターネットでの価格調査である。利用するのは各チェーンのウェブサイト、Travelweb、ITN、EasySabre、Travelnowなどである。Travelwebは、1989年にいくつかのホテル会社が共同で設立したThisco(The Hotel Industry Switch Company)がサービスしているシステムで、基本的に各ホテルチェーンのCRSとの直接的なインターフェイスをとっているものだ。そのため、表示されるデータは各チェーン自身が保有するCRSのデータに近い。

インターネット上での価格調査が終わったら、国内にあるホテルチェーンの予約センターに電話する。そこでたとえば日本人向けとかの安い価格があればそれで予約するし、インターネットと同じかそれ以上のときは、電話を切ってインターネットで予約する。

レンタカーは基本的にハーツを利用している。一応、easySABREやITNでも価格を調査するが、ほぼすべての場合、ハーツのウェブサイトで十分である。例外は割引券を複数使うときで、その場合はウェブサイトでだいたいの状況を把握しつつ、日本の予約センターに電話をしている。

この記事を通してインターネット時代の旅行予約をイメージしていただけただろうか? GDS/CRSがインターネットから利用できるようになる以前は、電話に出てくるオペレーターの機嫌を損ねないように気を使いながら情報をたくさん引き出すという、非常にストレスが溜まる作業が必要だった。

しかし今は違う。インターネットを使えば、誰に気兼ねすることなく生の情報を取ってこられるので、旅行自体の満足度もアップした。個人で海外旅行をしている方は、ぜひ一度インターネットを使って旅の準備をしてみてほしい。インターネットが必須アイテムになること請け合いだ。

[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレス R&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社**インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp